

### 3月第一例会(メネット例会)報告

3月9日(木) 19:00~21:00 三条 YMCA  
メネット 立山 益子

3月第一例会(メネット例会)は、金澤ワイズに講師をお願いして社交ダンスです。三条 YMCA のマナホールで行いました。メネット例会なので、京都部メネット事業主査の岡本敦子メネットをはじめセンチューリー・みやび・トゥービーのメネットさんがたくさん来られてとても華やいだ雰囲気です。開会が机や椅子の準備のため、10分くらい遅れていたの、急いでおいしい三段弁当を食べました。

さあダンスレッスンの始まりです。足や体に覚えのあるメンバーは、ダンスシューズや衣装に着替え、準備万端。ダンス初体験組は、バレエシューズやスニーカー、スリッパの人もいます。最初に、金澤ワイズのスタジオで週1回3ヶ月レッスンを続けたウエストダンシングチームが、成果を披露してくれました。森田ワイズや野田ワイズの楽しそうなダンス、みんなとっても素敵でした。次は、みんなで“マンボ”のレッスンです。ステップは“1・2・3・4・ベーシック・ハーフターン・ベーシック・フルターン”うーん足がもつれそう、ターンってどっち?.....あっ回れた!続いて“ジルバ”のレッスンです。“1・2・3・4・5・6”ステップはできた!しかしペアになって音楽がかかりターンが入るとできない!でも、隣を見ると笹山メネットも松本メネットも音楽にあわせて踊っておられます。足の運びが慣れてきて、少し汗ばんできた所でレッスンは終了。最後に金澤ワイズと加納栄治さんの優雅で流麗なダンスを見せて頂き、しばし感動。

本日のメネットニコニコは、メネット事業に活用していただくために、岡本事業主査に手渡されました。こんなダンス例会もたまにはいいなと思ったのは私だけじゃなかったと思います。金沢ワイズ・加納様、楽しい時間をありがとうございました。

出席者 メン17名 メネット7名 ゲスト10名

流石です! 金沢ワイズ



女性軍の華麗なステップ



キマッテマス会長!



男性軍の軽快なステップ



### 3月第二例会報告

3月23日(木) 19:00~21:00 リーガロイヤルホテル  
書記 安平 知史

3月23日(木)リーガロイヤルホテルにて第594回3月第二例会が開催されました。定刻PM7:00金澤Y'Sの司会によりスタート!今回はTWIN来る例会という事でしたが残念ながらゲストは2名、次回のTWIN来る例会は沢山のゲストの参加にしたいものです。

中原会長の開会点鐘に始まりワイズソング、会長挨拶に続き高山Y'Sの食前の一言?(食前の懺悔に聞こえましたが...笑)で今回も美味しい料理をいただきながらのお食事タイムがはじまりいつもの和気あいあいとした楽しい時間が流れました。

それから能楽師「シテ方観世流準職分」の吉田篤史師による「能楽へのお誘い」というお題で講演頂きました。最初に素人の私たちにわかりやすく能楽についての、歴史や豆知識など等、非常にわかりやすく説明していただきました。で、実際に能楽を披露して頂くことになり私はあまり能楽には触れたことが無くどんなもんやろと思っておりましたが、能楽の歌声や舞を目の前で見せていただき、その迫力と素晴らしい舞に圧倒され非常に感動しました。

日本古来、能楽は室町時代より生まれたそうですが、本当に素晴らしいこの能楽という文化にでき触れることができ感謝する次第です。機会があれば一度、能楽の舞台を観に行ってみようかと思いました。

少し時間も押し気味でしたがハッピーバースデー、ニコニコタイム、YMCAソング斉唱と進み最後に中原会長の閉会点鐘で無事終了。最近、欠席が多く久しぶりに例会に参加しました。色々刺激を頂くことができよかったです。やっぱりウエストラブの例会は最高ですね~

出席者メン23名 メネット2名

ゲスト2名 ゲストスピーカー1名 合計28名。

ゲストスピーカー 吉田 篤史師



食前の一言 高山ワイズ



3月ハッピーバースデー



## 茨城クラブチャーターナイト報告

3月4日(土) つくば国際会議場

広報委員長 岩本 敬子

3月4日早朝、新幹線で京都を出発、東京南口バスターミナルより、つくば駅まで行き、そして歩いて15分。目的地であるつくば国際会議場に到着。本日はDBC(ウエストの兄弟クラブ)の東京ひがしワイズメンズクラブがスポンサーされた茨城ワイズメンズクラブのチャーターナイトに出席させて頂きました。

第1部は開会礼拝。奨励は茨城クラブのメンバーでもあるボイル宣教師のお言葉が、印象的でした。“私たちは何のために生きるのか?”アメリカでベストセラーにもなっている「人生を導く5つの目的」の本を紹介しながらお話いただきました。キリスト教の本ではありますが、近年は目的や希望が薄らいでいるのではないかと、神を知ることにより私たちは何をすべきか?YMCAとして重要な役割があるのでは?等々考えさせられる内容で、心が引き締まる思いを感じました。



そして第2部は国際協会加盟認証伝達式です。ここからは、ひがしクラブの鈴木健二ワイズの進行で、厳粛に進められました。3部は記念コンサートとして、グロケンシュピール(ボランティアグループ)によるハンドベルの演奏・歌声です。4

オクターブまでの音域でクラシックを奏で、最後は歌声をまじえた演奏。本当にきれいでした。4部は館内の中のレストランに移り、祝会。ここではウエストクラブ中原会長が、激励の言葉として、ほんのり赤顔でお祝いの気持ちを話されました。アトラクションとしては、ご当地の「筑波山ガマの油売り口上」がまた、観衆をひきつけ、刀で腕を切って血を流す所や血をふき取る所は笑いもありでなかなか見ごたえのものでした。またYMCAのリーダー達による歌をみんなで合唱するなど盛りだくさんのプログラムがあつたという間に終わり、閉会いたしました。いつもの事ながらひがしクラブの皆様には大変お世話になってしまいました。

2次会では、武林茨城クラブ会長と環境問題のお話を聞きながらさせていただいた事、本当によい時間をすごすことができた事、ひがしクラブ、茨城クラブの方々に感謝いたします。今後の活発な活動・発展をお祈りいたします。

復路はもちろんエクスプレスにて。

参加者 中原、河合、岩本 3名



## 畏友、鈴木寛ワイズを偲んで

森田 恵三

去る3月9日の朝、電話のベル・・・。メネットの話し振りから鈴木寛ワイズの容態が急迫している様子。取りも直さずメネットが鈴木宅に駆けつけたのですが、9時45分ご家族とともに鈴木ワイズの安らかな永遠の旅立ちを静かに見送ることとなったのでした。

後刻故人に對面した私は、長かった闘病生活に耐えられた末に、漸く安楽のときを得られた鈴木ワイズの顔に手を当てながら“鈴木さん! よー頑張ったねえ! ご苦労さん”と声にならない嗚咽の挨拶をしました。

思えば、鈴木ワイズは1933年5月生まれで私とは学年一緒の兄貴分。仕事の上でも30数年に及ぶお付き合いでした。とりわけ、ワイズメンズクラブにあっては、京都ウエストクラブのチャーターメンバーの一人としていち早く参加され、京都ウエストが、今なお誇りとしているチャーターナイト3ヶ月前からのプリテン発行作業には、初代プリテン委員長高野ワイズの片腕として活躍していただきました。クラブにあっての鈴木ワイズは、達筆の特技を生かして名札や表彰書きなどを進んで引き受けて下さり、今のIT時代では想像もつかないアナログ世界での地味なプリテン編集には、他に追従を許さないものをもっておられました。鈴木ワイズは真面目で几帳面、受けた役目はすべて全力投球という姿勢をもって、第11代会長として「ワイズの原点・奉仕の心」の標語を掲げ、温故知新の精神を大切にされたクラブ運営の実践に努められました。中でも我がクラブ念願の台北ダウタウンクラブとのIBC締結のための訪台後、下田における日本区大会に於いて無事締結式を挙行されたことは、IBC委員長としてすべての行動を共にした私にとっても、今なお懐かしい思い出となっています。

入会以来25年、病には勝てず退会されましたが、ご本人としては、最後までワイズメンとしての人生を全うしたかったのが本音だろうと、身近な私にはその残念さが偲ばれてなりません。尽くせぬ鈴木ワイズの足跡は、古いクラブメンバーには等しく胸のうちに刻まれていることでしょう。身体不調・入退院の繰り返しの中で懸命に生きてこられた鈴木ワイズは、修証義の説く「身命は露よりも脆し」の言葉通りついに天界の人となられました。今は亡き畏友、鈴木寛さんの在りし日の追憶とともに、永遠のご冥福を祈るばかりであります。

今後落ち着きを取り戻されたあかつきには、けい子メネットが特別メネットとして名残惜しく逝かれた鈴木ワイズに代わってワイズ運動に関われ、親しきワイズ仲間と共に、残る人生を楽しく豊かなものにしていただけたらと願っています。ご一考いただくことを期待して止みません。

プリテン300号記念座談会 (2005年1月9日)



